

以下の①から⑤の新聞記事の中から二つを選び、それぞれ次の点につき答えなさい。

1. 記事において問題となっている労働法上の論点
2. その論点の前提となる法の説明
3. その論点に関する諸説
4. その論点に関する自らの見解

注意：1. 選択した記事番号を明記すること。二題の解答がないと回答とは認めない。二題の解答の順序は問わない。

2. 一題を解答用紙の表面に他の一題を裏面に書く目安で記述すること。

3. 設問1から4のいずれに解答しているのか明記すること。

4. 採点基準（各問50点満点、合計100点満点で採点する）

a) 設問の1. から4. の項目毎に、基本的には○△Xの三段階評価を行う。

b) 必要なことが述べられていれば○で10点、不十分ならば△で5点、関係することが何も述べられていなくXで0点。

c) さらに、独創的な考えがみられた場合には、各問共に10点の範囲で追加点をつける。

①イッセイミヤケ事件

朝日新聞 2020年07月18日付より作成

アパレルブランド「イッセイミヤケ」の運営会社が、来春に就職予定だった大学卒業見込み者らの内定を取り消したことがわかった。新型コロナウイルスの影響で売上げが減ったためだとしている。同社によると、内定取り消しは総合職や販売職などが対象で、一部の専門的な職種は除くという。3～4月にかけていったんは内々定を出していた。

②サッカー・ワールドカップ

朝日新聞 2022年11月30日付より作成

サッカー・ワールドカップ(W杯)カタール大会で日本がドイツに劇的な勝利を収めた直後のことだった。現地観戦していたNTT東日本社員は、ツイッターのW杯公式アカウントに、大きく自分の顔が写っていることに気づいた。注目を浴びたのは、会社の上司へのメッセージを書いた紙を持って応援していたからだ。「Dear My BOSS Thank you For MY 2WEEK OFF!」現地観戦は幼い頃からの夢だった。今年2月、日本の1次リーグ3試合分のチケットに当選した。期間は11月下旬～12月上旬の2週間。夏休みでも年末年始でもない。そんな時期に長期休暇を取れるのだろうか。

③山梨県民信組事件

朝日新聞 2016年11月25日付より作成

県民信用組合(甲府市)が発足する過程で退職金を減らされたのは不当だとして、旧峡南信用組合の元職員12人が計約8千万円を県民信組に求めた訴訟の差し戻し審。旧峡南信組は2003年に旧甲府中央信用組合と合併。その際、旧峡南信組出身者は退職金の規定が変わり大幅に減額された。原告らは規定変更の同意書に署名したが、「詳細な説明を受けていなかった」として減額前の退職金を求めていた。県民信組は甲府中央信組を存続組合として04年に発足した。一審と二審は、「署名したことで、内容に合意したといえることができる」として訴えを棄却。

④富山県滑川市事件

朝日新聞 2023年07月06日付より作成

富山県滑川市の市立中学校に勤務していた40代の男性教諭が、過重な長時間勤務の結果、くも膜下出血を発症し死亡したのは校長が安全配慮義務を怠ったためだとして、遺族が市と県に約1億円の損害賠償を求めた訴訟の判決が5日、富山地裁であった。

教諭は、3年生の学級担任と理科の指導に加え、ソフトテニス部の顧問として土日も出勤し、2016年7月に自宅でくも膜下出血を発症し、翌月亡くなった。さらに、学級担任を務める3年生は進路選択を控えており、ソフトテニス部は県大会で団体3位、個人2位に入るほどの強豪で、身体的にも心理的にも強い負荷がかかっていたと指摘。部活動を含めた長時間業務により、疲労を蓄積し、くも膜下出血の発症に至ったといえると判断した。市側は、部活動の指導について「教員の自由裁量に一任されていた」などとして、時間外勤務から差し引くべきだと主張していた。

⑤西武池袋本店事件

朝日新聞 2023年09月01日付より作成

大手百貨店「西武池袋本店」(豊島区)で8月31日、労働組合によるストライキが行われた。約60年ぶりとなる大手百貨店のストに、地元は揺れた。今回のストは、同店を運営する「そごう・西武」を米投資ファンドに売却する親会社の方針を巡り、労組が事業継続や雇用を守ることを求めて行われた。親会社のセブン&アイ・ホールディングスはこの日、9月1日の売却を正式に決めた。